

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款 3 民生費	課・係名				
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策	健やか子育て支援の村づくりの推進	項 2 児童福祉費	子育て支援課				
					目 1 児童福祉総務費	子育て支援係				
事業通番 132103	事業名	少子化対策事業			予算額		決算額			
				当初予算額	増減額	予算現額				
	事業目的	安心、安全な出産・子育て環境の整備や子育て中の経済的不安感の軽減などを目的に、子の出生や成長を祝い記念品や祝金を支給する。 ・お誕生記念品事業 ・小学校入学祝金事業 ・多子出産祝金事業 ・出産・子育て応援ギフト給付事業 ・子育て家庭優待パスポート事業			事業費	6,817	▲ 1,000	5,817	事業費	5,336
			財源内訳	国庫支出金	1,333	▲ 666	667	財源内訳	国庫支出金	767
				県支出金	333	▲ 166	167		県支出金	134
				地方債	0	0	0		地方債	0
				その他	4,600	▲ 200	4,400		その他	4,400
				一般財源	551	32	583		一般財源	35
事業の内容及び成果・今後の課題										
■ 事業内容及び成果										
	内容	事業費(円)	内容・成果			今後の課題				
	お誕生記念品事業	130,000	出生とともに村に住民登録を行った新生児1人に対し1万円分の村商工会商品券もしくは1万円相当の品物を贈呈。5種から選択。 ・記念品：13人（130,000円）			・保護者が選択できる現在の形を今後も継続していく必要がある。				
	小学校等入学祝金事業	3,200,000	村に住む小学校へ入学した児童を養育する保護者へ、児童1人あたり10万円を支給。 ・対象児童：32人（3,200,000円）			・基準日(5月1日)の確認以降、速やかな支給が必要。				
	多子出産祝金事業	1,200,000	第3子以降の新生児が生まれた世帯（保護者）へ、新生児1人あたり20万円を支給する。 ・対象世帯：6件（1,200,000円）			・順次要件取得（6か月在住）していく家庭を把握し、もれなく案内を行う。				
	出産・子育て応援ギフト給付事業	800,000	国が実施する、妊娠期から出産後の子育てまでを切れ目なく、必要な支援を行っていくための事業。伴走型相談支援（定期的な面談・アンケート・必要に応じた相談支援）を保健師を中心として民生課健康福祉係が担当し、経済的支援（妊娠期、子育て期の開始時期にそれぞれ対象1人あたり5万円の支給）を子育て支援課子育て支援係が担当する。 ・出産応援ギフト：8件（400,000円） ・子育て応援ギフト：8件（400,000円）			・全国一律事業。重複支給を防ぐため、転入・転出者に対して、前住所地、新住所地との連携が必要。 ・伴走型相談支援担当課との密な連携が必要。				

子育て家庭 優待パス ポート事業	5,830	県が実施する本事業について、R6.3.31にて有効期限が切れるパスポートの更新。 対象児童がいる全ての子育て世帯へ新しい期限のパスポートを配布した。	・5年ごとの更新となるため、今回はR9年度に実施。
合計	5,335,830		

■課題及び今後の取組

- ・少子化対策に係る事業として、継続して進めていく。

活動 指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果 指標	項目	単位	目標	実績	達成度
	村広報掲載	回	2	2	100%			年間出生数	人	20	13
					#DIV/0!		小学校入学児童数	人	32	32	100%
					#DIV/0!		第3子以降児童出生数	人	6	6	100%

担当評価	評価の根拠・説明・考察	
A	主に祝金、経済的な支援等を中心に実施した。出生数は減少しているが、子の成長の節目を捉えた支援は、物価高騰が続く中で生活の大きな下支えとなっていると思われる。今後、妊娠前から18歳までの子育てについて、切れ目ない支援を検討する必要がある。	

評価委員評価

公共性	B	総合評価 (妥当性)	B	・お誕生記念品の抜本的改善を検討されたい。
公平性	B			
有効性	B			
効率性	B			

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画		款	7 土木費	課・係名																	
基本目標		計画に記載なし	施策	項	1 土木管理費	子育て支援課																	
				目	1 土木総務費	子育て支援係																	
事業通番 43462	事業名	奨学金返還支援事業		予算額			決算額																
	事業目的	若者のU I J ターンの促進と、木島平村への就業の促進		当初予算額	増減額	予算現額	事業費																
			事業費	2,106	▲ 1,577	529	428																
			財源内訳	国庫支出金	0	0	0																
				県支出金	0	0	0																
				地方債	0	0	0																
				その他	0	0	0																
				一般財源	2,106	▲ 1,577	529																
事業の内容及び成果・今後の課題																							
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>村内在住、初年度申請時点で30歳未満などの要件を満たす若者に、申請の前年に返還した奨学金に対して補助金を交付する             <ul style="list-style-type: none"> <li>交付内訳</li> </ul> </li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>申請者数</th> <th>交付額</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>村内勤務者</td> <td>1</td> <td>120,000円</td> <td>返還額の1/2（上限15万円）</td> </tr> <tr> <td>村外勤務者</td> <td>4</td> <td>303,000円</td> <td>返還額の1/3（上限10万円）</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>5</td> <td>423,000円</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>その他（チラシ折込料）・・・4,400円</li> </ul>								項目	申請者数	交付額	備考	村内勤務者	1	120,000円	返還額の1/2（上限15万円）	村外勤務者	4	303,000円	返還額の1/3（上限10万円）	合計	5	423,000円	
項目	申請者数	交付額	備考																				
村内勤務者	1	120,000円	返還額の1/2（上限15万円）																				
村外勤務者	4	303,000円	返還額の1/3（上限10万円）																				
合計	5	423,000円																					
<p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度から始まった新たな制度のため、次年度以降も制度の周知に努める必要がある。</li> </ul>																							

活動指標	項目					成果指標	項目				
	単位	目標	実績	達成度	単位		目標	実績	達成度		
	広報周知（村広報誌掲載）	回/年	6	3	50%		年間申請者数	人	10	5	50%
	広報周知（チラシ折込）	回/年	2	1	50%		年間支援額	千円	125	423	338%
				#DIV/0!					#DIV/0!		
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
B	前年度の返還額の補助という制度の特性上、しばらくは年数を経るごとに年間申請者数・支援額が増える見込み。肝心の本事業にかかる広報周知についても、申請が開始となる1月1日までに、広報誌への掲載3回・チラシ折込1回の計4回と2か月に1度のペースで広報していることから、このペースを維持して制度の周知を図っていきたい。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	・本事業は、総務省の奨学金を活用した若者の地方定着促進要綱に基づいて実施している。より多くの村民が活用できるよう更なる周知を図りたい。							
公平性	B										
有効性	B										
効率性	C										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款9 教育費		課・係名					
基本目標		計画に記載なし		施策		項1 教育総務費		子育て支援課					
						目1 教育委員会費		子育て支援係					
事業通番 191105	事業名	スクールカウンセラー設置事業				予算額			決算額				
		発達相談体制の充実のため、スクールソーシャルワーカーの導入を図る。				事業費	336	0	336	事業費	204		
						財源内訳	国庫支出金		0	財源内訳	国庫支出金		
							県支出金		0			県支出金	
							地方債		0			地方債	
							その他		0			その他	
							一般財源	336	0		336	一般財源	204
事業の内容及び成果・今後の課題													
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>相談及び研修業務委託料（中学1・3年生に対する全員面談及び心の健康授業、小学校講演等：12日）・・・204,000円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小学校における相談業務の実施及び就学支援委員会等との連携強化</li> </ul>													
活動指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目	単位	目標	実績	達成度		
	スクールソーシャルワーカーの配置人数	人	1	1	100%		保育園相談回数	回	5	0	0%		
					#DIV/0!		小学校相談回数	回	5	3	60%		
					#DIV/0!		中学校相談回数	回	5	9	180%		
担当評価	評価の根拠・説明・考察												
A	日常生活での悩みやいじめ、家庭内虐待など、児童生徒が抱える様々な問題を解決のため、事業を継続する必要がある。												
評価委員評価													
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B										
公平性	B												
有効性	B												
効率性	B												

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画			款9 教育費		課・係名					
基本目標		子育てと教育の村づくり	施策		木島平型教育の推進		子育て支援課					
							子育て支援係					
事業通番					予算額			決算額				
191106		事業名 木島平型教育づくり事業			当初予算額	増減額	予算現額					
		木島平型教育づくりを目指す。 体験学習、授業改善等を取入れ、保小中一貫教育の推進により木島平の未来を受け継ぐ児童・生徒の生きる力、伸びる力を育む。			事業費	11,525	1,528	13,053	事業費	10,577		
					財 源 内 訳	国庫支出金		0		財 源 内 訳	国庫支出金	
						県支出金		0			県支出金	
						地方債		0			地方債	
						その他	4,000	▲ 2,000	2,000		その他	2,000
						一般財源	7,525	3,528	11,053		一般財源	8,577
事業の内容及び成果・今後の課題												
内容	事業費(円)	内容・成果				今後の課題						
自主公開学習検討会等	756,360	外部講師による保小中一貫教育の推進を図った。 保育学びの会2回、自主公開学習検討会：小学校3回、中学校3回 謝金703,860円 宿泊料52,500円				自主公開授業の継続 木島平型教育を目指し、教職員の授業力向上を図る						
小学5年生八丈島海の学習	3,452,767	八丈島で「宿泊体験学習」を行い、八丈島の児童と交流を深める。 実施日：7月19日～22日【3泊4日】 参加者：小学5年生41人、教員5人、職員2人 内容等：八丈島の見学、体験活動、学校交流他				八丈島海の学習事業を内容（宿泊数）を検討する。						
索道施設利用給付事業	4,899,000	小学生、中学生、教職員（スキー教室）のリフト券無料及び、一部保護者のリフト券補助を実施した。 小学生：2,745,000円（1,098人） 中学生：1,387,500円（278人） 保護者：528,000円（132人） 教職員：238,500円				ウインタースポーツ普及、地元スキー場の利用促進を検討する。						

広島平和学習	270,578	広島平和記念公園、平和記念資料館の見学を通して戦争で亡くなった多くの戦没者の御霊を追悼するとともに、戦争の悲惨さを平和の大切さを学んだ。 実施日：8月3日～8月5日【2泊3日】 参加者：中学3年生1人、2年生2人、教員1人 旅費等270,578円	平和学習事業の継続、全生徒が平和学習を実施できるよう検討する。
教員教育力向上・児童生徒学力向上助成	129,200	保小連携に係る活動経費に対する補助金（10,000円）及び児童生徒の検定等受験費用の一部を補助（119,200円）した。 英検：小学生19人、中学生21人 漢検：中学生18人 数検：中学生16人	・保小中における連携の強化。 ・児童生徒のチャレンジ精神を育むため継続して助成・
教育相談その他	1,068,855	教育相談員を1人配置し、保育園や小中学校と連携しながら子どもたちに関わる助言や指導を行った。（719,455円） 東京大学連携事業宿泊料：312,000円 その他消耗品、製本代等：37,400円	・教育相談員に係る人件費の確保。 ・東京大学との連携を継続する。
合計	10,576,760		

活動指標	項目					成果指標	項目				
	単位	目標	実績	達成度	単位		目標	実績	達成度		
	自主公開授業（小中学校）の実施回数	回	7	6	86%		保小中一貫教育及び授業改善の推進2校	校	2	2	100%
	保育学びの会（保育園）の実施回数	回	2	2	100%						#DIV/0!
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
A	木島平型教育の理念にある「ふるさと木島平を心に刻む教育の実践」を目指して、自主公開授業等による実践的な授業力の向上を図る必要がある。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款9 教育費		課・係名			
基本目標		計画に記載なし		施策		項1 教育総務費		子育て支援課			
						目1 教育委員会費		子育て支援係			
事業通番	事業名	ルクセンブルク交流事業				予算額			決算額		
191107		ルクセンブルク・ディーキルシュ中等学校との異文化交流を通じて、言語力や国際力を養う。 令和4年度から交流を再開しディーキルシュ校からの受け入れを行い、令和5年度はルクセンブルク訪問を実施。				当初予算額	増減額	予算現額			
		事業費		6,474	2,529	9,003	事業費		8,986		
		財源内訳	国庫支出金		0		財源内訳	国庫支出金			
			県支出金		0			県支出金			
			地方債		0			地方債			
			その他	1,000	4,000	5,000		その他	5,000		
			一般財源	5,474	▲1,471	4,003		一般財源	3,986		
事業の内容及び成果・今後の課題											
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルクセンブルク訪問交流（生徒10人、教職員3人）・・・8,985,537円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>コロナによって受入と訪問の順番が変わってしまい、訪問までの期間が空いてしまう。</li> </ul>											
活動指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目	単位	目標	実績	達成度
	ルクセンブルク・ディーキルシュ中等学校訪問	回	1	1	100%		参加生徒数	人	10	10	100%
					#DIV/0!						#DIV/0!
					#DIV/0!						#DIV/0!
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
A	ルクセンブルク・ディーキルシュ校での交流やホームステイでの生活は、生徒にとって貴重な経験となっている。校内では体験発表を通じて国際文化への理解と豊かな国際感覚を育む取り組みが行われた。事業的效果も高く、村の大切な施策として今後も継続していく必要がある。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	C	・木島平中学校とディーキルシュ中等学校との交流も20年を超えたことから、今後はより多くの子ども達が、ルクセンブルク交流等、幅広い国際交流を体験・体感できる環境を整えるよう努められたい。							
公平性	C										
有効性	B										
効率性	B										



令和5年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 41362	基本目標		第6次総合振興計画				款9 教育費	課・係名							
	計画に記載なし		施策				項2 小学校費	子育て支援課							
							目1 小学校管理費	子育て支援係							
事業名		GIGAスクール構想事業・小学校管理費				予算額			決算額						
		児童生徒一人一台端末の活用を図るGIGAスクール構想の実現に向けて、ICT環境の整備やスクールサポーターによる授業支援を行う。				当初予算額		増減額	予算現額						
						事業費	3,300	0	3,300	事業費	2,479				
						財源内訳	国庫支出金	220	0	220	財源内訳	国庫支出金	175		
							県支出金		0			県支出金			
							地方債		0			地方債			
							その他		0			その他			
		一般財源	3,080	0	3,080	一般財源	2,304								
事業の内容及び成果・今後の課題															
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・消耗品・・・103,634円</li> <li>・児童用デジタル教科書の購入他（全学年：国語、算数、社会、家庭、英語、音楽）・・・884,190円</li> <li>・スクールサポーター配置業務委託・・・1,386,000円</li> <li>・ソフトウェア使用料（スカイメニュークラウド20ライセンス）・・・105,600円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ICT機器の更新及びオンライン環境の整備。</li> </ul>															
活動指標	項目		単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目		単位	目標	実績	達成度		
	GIGAスクール運営支援センターによるICT支援		回	18	37	206%		ICTを活用した授業の実践		人/台	1	1	100%		
						#DIV/0!							#DIV/0!		
						#DIV/0!							#DIV/0!		
担当評価		評価の根拠・説明・考察													
A		国のGIGAスクール構想の実現に向けて、小学校におけるICT環境の整備を図り、児童の1人1台端末を活用した教育の充実を図る必要がある。													
評価委員評価															
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B												
公平性	B														
有効性	B														
効率性	B														

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画					款9 教育費		課・係名		
基本目標		計画に記載なし			施策		項2 小学校費		子育て支援課		
							目2 小学校教育振興費		子育て支援係		
事業通番 192201	事業名	小学校教育振興費				予算額			決算額		
						当初予算額	増減額	予算現額			
		児童指導用教材の充実 教科用消耗品・備品類の購入 図書館環境の充実				事業費	5,693	0	5,693	事業費	5,397
						財源内訳			財源内訳		
						国庫支出金		0		国庫支出金	
						県支出金		0		県支出金	
						地方債		0		地方債	
						その他	200	0	200	その他	200
						一般財源	5,493	0	5,493	一般財源	5,197
事業の内容及び成果・今後の課題											
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童図書購入、学校活動用消耗品他・・・1,596,209円</li> <li>・特別支援教育教材費他・・・130,134円</li> <li>・学力検査（国語、算数）及び知能検査（2・4・6年）委託料・・・332,910円</li> <li>・タブレットPC（60台）リース料・・・3,181,420円</li> <li>・教材用備品購入費・・・128,997円</li> <li>・その他教育振興に係る経費・・・26,698円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童図書及び教材等の更新継続。</li> </ul>											
活動 指 標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果 指 標	項目	単位	目標	実績	達成度
	児童用教材の購入	千円	700	798	114%	児童用教材の充実	式	1	1	100%	
	児童用図書の購入	千円	800	799	100%	児童用図書の充実	式	1	1	100%	
担当評価		評価の根拠・説明・考察									
A		学校図書館法の規定に基づき、児童生徒の図書活動や読書活動の充実のため、今後も継続して図書の充実を図る必要がある。また児童の学びに必要な教材の充実を図る。									
評価委員評価											
公共性		B		総合評価 (妥当性)	B						
公平性		B									
有効性		B									
効率性		B									

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 192202	基本目標		第6次総合振興計画				款	9 教育費	課・係名					
	計画に記載なし		施策				項	2 小学校費	子育て支援課					
							目	2 小学校教育振興費	子育て支援係					
事業名		小学校教科充実活動費				予算額			決算額					
		総合的な学習の実施により、児童の健全育成を図る。				事業費	1,208	増減額	0	予算現額	1,208	事業費	1,141	
						財源内訳	国庫支出金		0		0	財源内訳	国庫支出金	
							県支出金		0		0		県支出金	
							地方債		0		0		地方債	
							その他		0		0		その他	
							一般財源	1,208	0	1,208	0		一般財源	1,141
事業の内容及び成果・今後の課題														
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6年生卒業証書作成謝金他・・・71,863円</li> <li>・小学校プログラミング教育講座業務委託（4～6年生）・・・1,069,200円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2020プログラミング教育の必須化による事業継続。</li> </ul>														
活動指標	項目		単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目		単位	目標	実績	達成度	
	4年生プログラミング教育講座の開催		回	5	4	80%		4年生プログラミングスキル及びプログラミング的思考の育成		人	28	28	100%	
	5年生プログラミング教育講座の開催		回	3	3	100%		5年生プログラミングスキル及びプログラミング的思考の育成		人	40	41	103%	
	6年生プログラミング教育講座の開催		回	5	5	100%		6年生プログラミングスキル及びプログラミング的思考の育成		人	37	37	100%	
担当評価		評価の根拠・説明・考察												
A		小学校におけるプログラミング教育により、将来の情報化やグローバル化に必要とされるプログラミング的思考を育むことの重要性が高まっている。												
評価委員評価														
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B											
公平性	B													
有効性	B													
効率性	B													

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

事業通番 41364	基本目標		第6次総合振興計画				款	9 教育費	課・係名						
	計画に記載なし		施策				項	3 中学校費	子育て支援課						
							目	1 中学校管理費	子育て支援係						
事業名		GIGAスクール構想事業・中学校管理費			予算額			決算額							
		児童生徒一人一台端末の活用を図るGIGAスクール構想の実現に向けて、ICT環境の整備やスクールサポーターによる授業支援を行う。			当初予算額			増減額	予算現額						
					事業費			2,808	0	2,808		事業費	1,785		
					財源内訳	国庫支出金			220	0	220		財源内訳	国庫支出金	175
						県支出金				0				県支出金	
						地方債				0				地方債	
						その他				0				その他	
					一般財源			2,588	0	2,588		一般財源	1,610		
事業の内容及び成果・今後の課題															
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導者用デジタル教科書の購入（国語、数学、英語、理科、社会、地図）・・・293,535円</li> <li>スクールサポーター配置業務委託・・・1,386,000円</li> <li>ソフトウェア使用料（スカイメニュークラウド20ライセンス）・・・105,600円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ICT機器の更新及びオンライン環境の整備。</li> </ul>															
活動指標	項目		単位	目標	実績	達成度	成果指標	項目		単位	目標	実績	達成度		
	GIGAスクール運営支援センターによるICT支援		回	18	35	194%		ICTを活用した授業の実践		人/台	1	1	100%		
						#DIV/0!						#DIV/0!			
担当評価		評価の根拠・説明・考察													
A		国のGIGAスクール構想の実現に向けて、中学校におけるICT環境の整備を図り、生徒の1人1台端末を活用した教育の充実を図る必要がある。													
評価委員評価															
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B												
公平性	B														
有効性	B														
効率性	B														

令和5年度 事務事業評価

単位：千円

		第6次総合振興計画				款	9 教育費	課・係名			
基本目標		計画に記載なし		施策		項	3 中学校費	子育て支援課			
						目	2 中学校教育振興費	子育て支援係			
事業通番	事業名	中学校教育振興費				予算額			決算額		
193201						当初予算額	増減額	予算現額			
	教授用消耗品・備品類の購入 図書館環境の充実 総合的な学習を継続実施する 学力検査の実施	事業費	4,637	0	4,637	事業費	4,477				
		財源内訳	国庫支出金		0		国庫支出金				
			県支出金		0		県支出金				
			地方債		0		地方債				
			その他		0		その他				
	一般財源	4,637	0	4,637	一般財源	4,477					
事業の内容及び成果・今後の課題											
<p>■事業内容及び成果</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・未来塾講師謝金他・・・85,274円</li> <li>・生徒図書購入、学校活動用消耗品他・・・1,227,521円</li> <li>・学力検査（1～3年生：国語、社会、数学、理科、英語）・・・173,660円</li> <li>・タブレットPC（30台）リース料・・・1,823,880円</li> <li>・教材用備品購入費・・・671,021円</li> <li>・その他教育振興に係る経費・・・495,257円</li> </ul> <p>■課題及び今後の取組</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童図書及び教材等の更新継続。</li> </ul>											
活動指標	項目	単位	目標	実績	達成度	成果	項目	単位	目標	実績	達成度
	児童用教材の購入	千円	899	943	105%	成果指標	児童用教材の充実	式	1	1	100%
	児童用図書の購入	千円	350	284	81%		児童用図書の充実	式	1	1	100%
担当評価	評価の根拠・説明・考察										
A	学校図書館法の規定に基づき、児童生徒の図書活動や読書活動の充実のため、今後も継続して図書の充実を図る必要がある。また生徒の学びに必要な教材の充実を図る。										
評価委員評価											
公共性	B	総合評価 (妥当性)	B								
公平性	B										
有効性	B										
効率性	B										